

エソタ



芸能には技術面と芸術面があります。多くの陸上競技は時間や距離を測ります。つまり技術面のみです。フィギュアスケートには芸術点があり、採点で採めることがあります。落語は、技術点以上に個々のお客さまが決める芸術点(＝評価)が重要です。この技術点と芸術点の違いは何か考えてみました。

温度計は温度を測り、分度器は角度を測り、定規は長さを測ります。しかし人間の感覚は、一気にいろんなことを測ります。日常会話で「慌てて来たの?」「風邪ひいた?」とか言いますが、これは

顔色、表情、発汗量、呼吸数、体の動きなどいろいろな情

■ 技術点と芸術点 ■

報を一気に感覚が測定し、脳が判断する結果だそうです。

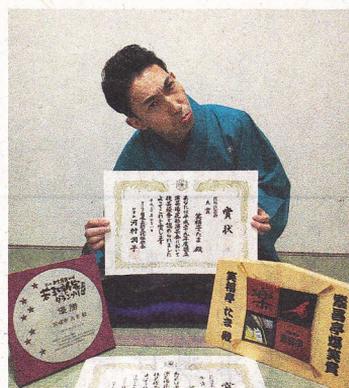
つまり芸術点は、それを見た各個人が決めた総合点です。これは「主観」とも言えますが、感覚が受け取る情報は客観的です。ただ観客はその情報を、それまでの経験値で「脳が判断します。ここらをもつて「落語はアホにはわからん」という芸人の台詞になります(笑)。

ちなみに素人でも二十年ぐらいた落語をやっていると、なぜか風格があるように見えるのはこれです。この人は何年もやってはる「芸はともかく自信たっぷりやな」などの情報を脳が感知するのです。

また有名人なのに落語が面白くなかった場合、観客は「あれ? この人は有名なの

笑福亭 たま

あなたの「いいね」肝心



「賞には意味がない」と言うために、賞を取ろうとする筆者

に何で?」「私はわからんけど、きつと凄(すご)いんかな?」「落語ってそもそも面白くないのかな」と迷ってしまいました。つまり芸術点(芸能の評価)は情報を一気に判断して評価するので、その時に本来の芸術点だけを判断すればええのに、別な情報も一緒に受け取ってしまい感(かん)わ(わ)さ(さ)れてしまいます。

技術点は感(かん)わ(わ)され(れ)ませんが、芸術点は感(かん)わ(わ)され(れ)ます。ユーチューブで「ギターを弾いてみた」という動画で凄(すご)い

速弾きを見たら誰でも「凄い!」とわかります。しかし落語の動画は誰のを見ても技術はイマイチわかりません。というのも落語の最低限の技術は「覚える」だ

けです。それ以上の技術は一般人にはわからないからです。だからあの有名な○○さんや、上手と言われている××師匠も実は大したことないかもわかりません(笑)。

皆さん、世間の評判に感(かん)わ(わ)され(れ)ずに、生の高座で「自分が最高点を付ける噺家(はなしば)」をぜひ見つけてください。本当に騙(だま)され(れ)ないで! っと思(おも)いますメンナサイ!

(落語家 次回掲載は七月二十五日)